

ネモフィラ通信

2年目も頑張ります！～救命救急センター～

救命センターは、受傷、発症したばかりの生命の危険がある急性期の患者さんに日々看護を行っています。意識障害や鎮静管理により訴えに気づきにくい状況であるため十分な観察力が必要とされ、人工呼吸器などの医療機器や重要薬剤を多く必要とした患者さんを受け持つことでプレッシャーを感じることもあります。その分新人の頃から疾患や医療機器に関する勉強会で臨床において重要となる知識・技術を身に着けることが可能です。

めまぐるしく患者さんの状態は変化していきませんが、重症であった患者さんが回復する過程にチームの一員としてかかわれることはとてもやりがいを感じることができます。悩むこともありますが、自分の成長を感じることも多く、これからも救命センターの看護師として臨機応変な対応を行えるよう切磋琢磨し頑張っていきます。

(2年目K・N M・K×3)



今月のTOPIX 「看護の日」

みなさんをご存じでしょうか？5月12日は「看護の日」でした。フローレンス・ナイチンゲールの誕生日を看護の日とし、看護の心、ケアの心を育むきっかけになるように制定されました。当院看護部では地域の方との交流も兼ねて、今年は病院前と明治小学校に訪問させていただきました。普段あまり病院や医療者との接点のない方もこの日に少し看護やケアについて考えるきっかけになればいいなと思います。